

# 巻機山 米子沢 2016/07/17

メンバー：落合（CL・記録）、飯野（SL）、細野、平川

天候：曇り時々晴れのち雨のち晴れ（目まぐるしい一日！）

登山口 5：45 避難小屋 10：55 本峰・牛ヶ岳往復 登山口 15：00

3連休は沢泊に行く予定だったが、梅雨が明けない海の日3連休は毎年のごとくグズついた天気が続き、案の定計画を変更。日帰りで行くか1本だけでも拾おうと、予報とにらめっこして日本海側ならば何とかなりそうかなと、上越国境の巻機山・米子沢に行くことになった。

いつものように前夜泊で祝杯を上げて仮眠、気がつけば毎週末テントでお馴染みのメンバーと酒を交わしている気がしてならない。。3連休中日という事もあり桜坂登山口駐車場は混んでるかなと予想していたが、予報がそれほど良くなかったせいか静かに仮眠する事が出来た。

しかし今回の核心は前夜泊・駐車場でのヤブ蚊の襲撃であった、テント内は4人で暑くて寝れないまではよくある話だが、朝起きてみたらテント内は悲鳴を上げたいくらいの数の蚊が飛び回っていて体中20箇所くらい刺されており、眠れぬ一夜を過ごした。外で無防備に寝ていた平川君に至ってはアルコール作用も程よく全身100箇所近く、文字通りモスキートにKOされた。（夏は共同装備で虫よけ対策を万全にしよう！）

予報では低気圧が日本海側を東進するためあまり期待は出来なかったが、朝は薄日も差してまずまずの天気。雨に降られる可能性こそあるものの、夕立や増水リスクは低そうなので決行する。

筆者は二回目なので、トップは3人先行で進んでもらう。今更グラビア・ルートに詳細な記述などいらないと思うので割愛するが、ロープは下部でお助け一回使用のみ。ゴルジュ地帯を抜けてハイライトの天国ナメ・ワールドに入ろうと思った矢先、天気が急変してきて一時間程ガッツリ雨に降られる。。

雲行きが怪しくなり振り返ると谷川連峰がアツという間にガスに包まれ、目まぐるしい天気に一喜一憂しながら、雨で濡れたスラブも滑りやすいので慎重に足の置き場を選びながら登る。

上部のナメを遡行しているとき、ナメを走りまわる野兎に感動して癒し系の沢で最後まで癒されました。その後天気は持ち直し、雨で洗われた稜線の景色も素晴らしく牛ヶ岳方面まで足を伸ばした。

花の名前は相変わらずよく分からないが稜線上はニッコウキスゲが満開で眺望も素晴らしく、眼下に広がる溪はすべて一級品で巻機山は何度来てもほんとにいい山だ。



稜線から朝日岳に続く縦走路と谷川連峰、眼下に米子沢

下りはお馴染みの井戸尾根を下るが、雨で登山道は泥濘状態が酷く米子沢のナメよりよく滑り、泥濘グレード4級くらいで下山の方が気を使い疲れた。。

米子沢は山スキーで滑り降りても気持ちいいが、上越国境には沢登り・山スキーのいずれでも'遡下降'出来る名溪がいくつかある。無雪期と積雪期でそれぞれの課題にチャレンジしてみるのも面白いと思いつつながら、筆者は山スキーの課題はなかなか片付けられていない。。

米子沢は、'藪漕ぎ無しの天国のナメ'、'初級で百名山に突き上げる溪'として多くの遡行者を迎えているが事故が多い事でも知られており、個人的には沢での基礎体力、スラブの登り方をある程度こなせるようになってから遡行してほしい。突き抜ける青空の下、あのナメを遡行出来たら沢登りにハマらない理由はない。ハイライト前後でガッツリ雨に降られてしまった仲間三名はまた来なくてはならないね、、次は錦秋の頃か東面に継続遡下降で行きましょう！